

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくりセンター

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

コロナ禍の学区琵琶湖市民清掃

各自治会判断で対応

大津市の琵琶湖を美しくする運動実践本部が呼び掛け6月20日実施された日吉台学区の「第56回琵琶湖市民清掃」。一斉清掃は、新型コロナウイルスの感染拡大で昨年は中止、今年について大津市の「琵琶湖を美しくする運動実践本部事務局」が「活動実施については、各自治会判断」とする方針を打ち出したことあつて、学区の一斉清掃も各丁の判断となり、清掃活動にばらつきが出た。

新型コロナウイルス禍における琵琶湖市民清掃で、運動実践本部事務局は、新型コロナウイルス感染症対策について、「できる範囲で無理の無い清掃、参加は強要しない」「最長2

時間までの活動」「事前の検温やマスクの着用、手指の消毒、対人距離の確保、感染防止対策」を呼び掛け、活動実施については各自治会に判断をゆだねた。

学区自治連合会などでまとめた各丁の報告による実施計画、実施報告は次のとおり。
【1丁目南】一斉清掃のさいは、通常100〜110人の参加があるが



コロナ禍で、行われる琵琶湖清掃（4丁目東地域で）

坂本比叡山口発着20分間隔に減便 京阪 平日昼間ダイヤ改正

9月25日実施



ダイヤ改正で、昼間の発着が半減する京阪坂本比叡山口駅

沿線学校長期休暇で学休期ダイヤ導入も

京阪電気鉄道は7月8日、石山坂本線のうち、平日昼間時間帯（午前10時〜午後3時ごろ）で、坂本比叡山口発着の電車がこれまでの10分間隔から20分間隔に大幅減便となる9月25日実施のダイヤ改正を発表した。

発表によると、石山坂本線では、現行石山寺一坂本比叡山口間で平日昼間時間帯では、10分間隔の運行となっている。新ダイヤでは、石山寺一坂本比叡山口間を運転する電車と石山寺一近江神宮前間を運転する電車を10分間隔で交互に運行する

という。この新ダイヤが実施されると、これまで石山寺一坂本比叡山口間で運行されていた電車の半分が近江神宮前発着に切り替わり、近江神宮前一坂本比叡山口間は、現行1時間あたり6本前後の運行数が20分おきの3本に半減する。

つながる安心

お出掛けの際は
スマホ・携帯を持ちましょう



現状を考慮して一斉清掃は中止。組長会、有志らが公園周囲の側溝の清掃、バス通りの美化、独居老人の住宅周辺の清掃。31人が参加。
【1丁目北】通常通り一斉清掃を実施。清掃後自治会独自の住民防災訓

練を実施。181人が参加。
【2丁目南】通常通り一斉清掃を実施したが、積極的な取り組みではなく、こみ拾い程度。59人が参加。
【2丁目北】一斉清掃は中止。各世帯の周囲の清掃呼び掛けを行い、自治会有志が3、4号公園、高橋川沿いの清掃を行った。
【3丁目東】一斉清掃は行わない。各世帯が20日から1週間かけて家の周囲の清掃を呼

び掛けた。今秋に丁として清掃を実施予定。
【3丁目西】通常どおりの一斉清掃を実施。79人が参加。
【4丁目東】通常どおりの一斉清掃を実施。その後自治会独自の住民防災訓練を実施。これらの行事実施は、コミュニケーションをはかる機会と考える。96人が参加。
【4丁目西】一般住民参加の一斉清掃は中止、自治会役員、組長による清掃を実施。12人参加。

福祉事業賛助金協力を

学区社会福祉協議会

同福祉協議会は、学区のボランティアを中心に住民全体の交流を深める事業として高齢者支援や子ども育成事業に取り組み「手と手をつなぎ『わ』ができるまち日吉台」を目指し活動をしている。その活動経費は、自治連、大津市社会福祉協議会、大津市、共同募金会等の補助金、助成金で賄われている。しかし、これら行政等の補助金、助成金は削減、共同募金も

減少傾向にあり、学区住民からの賛助金は、学区社会福祉協議会の財政基盤を強化し、社協の事業継続をはかるため欠かせない存在になっている。賛助金は、1口1000円。何口でも可。各丁の社協運営委員、民生児童委員まで。また、日吉台ささえあいの会（080-1145917026）へ電話をすれば係が出向くことになっている。



安易に猫にエサをやらしないで!

2匹の成猫から1年で20匹に増える繁殖力があるとされています

エサやりと飼育管理

はセットで行ってください

子鹿など迷い込み防止に改善要望

高橋川上流部 救出相次ぎ地元、3西自治会

高橋川上流域河川敷に、子鹿やイノシシの子供など小動物の迷い込みが相次ぎ、救出劇が繰り返されていることについて、地元の三丁目西自治会(岸本善春会長)は、県土木事務所に対し、子鹿などが河川敷に転落したり、迷い込んだりしても自力で脱出できるように現場の段差にスロープか、フェンスを設置するよう要望書を提出した。

高橋川34番地裏付近の段差にスロープを設置要望図面



現場の高橋川上流部は北側と西側からの流れが

今回の要望については岸本さんは「その都度、住民らが出て河川敷に入り、約1時がかりで捕獲、山へ帰しているが、住民の高齢化が進み対応が難しくなっている」と話している。

一緒になる合流点部分。両サイドがコンクリート擁壁に囲まれ、上流部上手には北、西側ともに高さ1.5メートルほどのコンクリート段差があり、この付近で子鹿などが転落したり、迷い込んだりすると自力での脱出は不可能。例年5月から7月にかけて、子鹿やイノシシの子のウリ坊の迷い込みが数件あり、その都度地元の3丁目西自治防災会の会員らが出て救出劇を演じている。今年も5月中旬と6月中旬、子鹿が転落、鳴いているのを住民や児童が見つけ、岸本さんらが救出、山へ放している。



高橋川上流域に迷い込んだ子鹿の救出を試みる3丁目西自主防災会の会員

見知らぬ人の声掛けに注意 日吉台小で防犯教室



日吉台小学校(中濱義明校長)体育館で7月7日、不審者から子どもたちを守る防犯教室が開かれた。

大津市子ども安全リーダー連絡協議会、日吉台自主防犯推進会、大津警察署生活安全課、坂本交番の協力で実施。この防犯教室は、例年なら全校児童を対象に行っているが、今年は新型コロナウイルス変異株感染症の対策として、1年生、3年生、5年生の60人に人数を絞り実施した。

体育館に集まった子どもたちを前に、不審者役

市民センター周辺、清掃奉仕に汗

学区老人クラブ連合会

日吉台学区老人クラブ連合会の清掃奉仕活動が、梅雨明け後の7月16日、日吉台市民センター周辺で行われた。この奉仕活動は、学区老人クラブ連合会の年間活動計画のひとつとして実施している事業。市民センター周辺街路の奉仕作業は、今年度4回目。炎天下、老ク

老ク連と書いた朱色のビブスを着用して作業を実施。1時間足らずの奉仕作業だったが、市民センター周辺街路は、勢いよ

市民センター周辺街路の雑草の生育勢いは例年以上。同クラブは、新型コロナウイルス対策としてマスクの着用、交通事故から会員を守るため行き交う車からも目立つよう日吉台



日吉台市民センター周辺での清掃奉仕に汗を流す学区老人クラブ連合会の会員

く生えていた雑草や植え込みなどのゴミも無くなり、見違えるようにきれいになった。

4東でサークル活動開始

4東集会所で行われた床壁、天井などのリフォームを契機に4東地区の住民らが「4東を元気にする会」を発足、サークル活動を始めた。

始まったサークル活動は折り紙、舞体操、書道、健康麻雀、映画鑑賞など。サークルの連絡先と開催日は未定。石津さん(090-2019-7107)の通り。

- 【折り紙】林さん(090-2019-7107)
- 【健康麻雀】9月から始める予定。泉さん(090-2193-9863)
- 【映画鑑賞】8月の開催日は未定。石津さん(090-2019-7107)
- 【書道】8月20日午前10時-12時。梶谷さん(080-11415-5587)
- 【舞体操】8月27日午前10時-11時半。池田さん(090-1326119334)

困ります!そのオシッコ!!
マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!
※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用品(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

大津署員が、同小児童に扮した山下英子自主防犯推進会長、同小教諭に路上で声をかけ、連れ去ろうとしたが、児童が鳴らした防犯ブザーと大声で難を逃れるという劇を演じ、不審者と出会った時の対処の仕方と演技に

よる身の守り方を指導。体育館で真剣な表情で劇を見ていた児童らに「誘拐に合わないための5つの約束」を呼びかけた。

(写真は、日吉台小体育館で行われる防犯教室)